

【東京文化会館】指定管理者提案書類(事業計画書) 概要

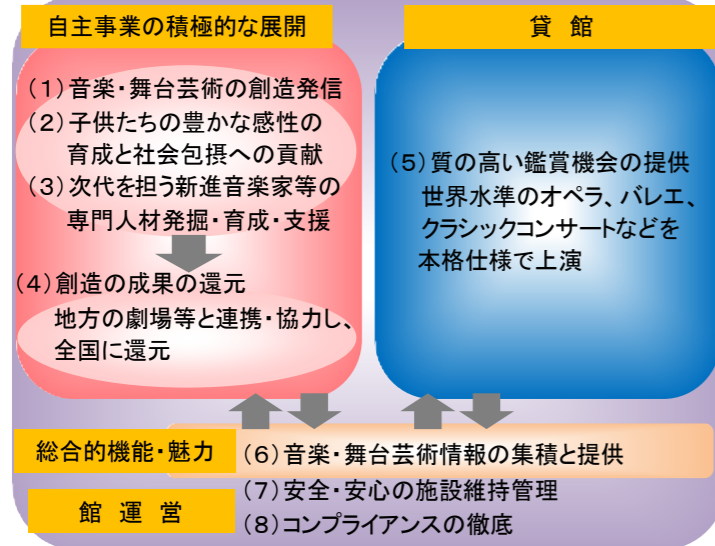
1. 管理運営の基本方針

■基本方針

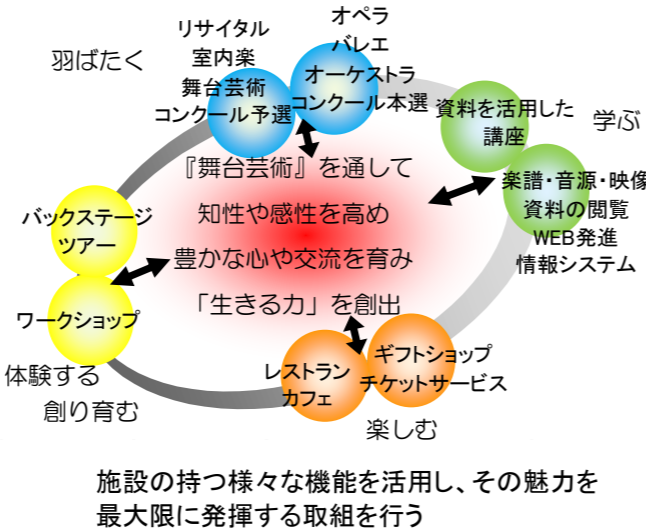
《目指すべき姿》

- ①舞台芸術の創造・発信、専門人材の育成、教育普及等 ⇒ 芸術文化の継承・発展に貢献、社会包摂・社会的課題を解決
- ②良質公演の鑑賞機会の提供、質の高いホールサービス ⇒ “音楽・舞台芸術の殿堂”としての価値をさらに向上
- ③多様な魅力と機能の活用により、より多くの人々に集い親しまれる劇場を目指す

《基本方針》



■館の機能の総合的な発揮



2. 事業に関する業務

■芸術文化の振興に関する事業

劇場が、あらゆる人々にとっての居場所となるよう、参加交流や社会的課題に対応したプログラムの充実を促進

- 鑑賞～創造発信: 芸術文化の振興、継続的な共同制作
  - ・新たな舞台芸術を創造し、幅広い観客を創出
  - ・様々なジャンルの鑑賞機会を提供し、多様な文化を共有

- 教育普及: あらゆる人々の鑑賞、参加、交流機会の創出

- 人材育成: 若手の活躍機会の創出

- ・優れた新進音楽家の発掘、出演機会の提供
- ・舞台芸術を支える人材の育成



■施設の利用

- 実施方針と貸館の運営戦略

- ・「音楽・舞台芸術の殿堂」として良質公演の鑑賞機会を提供
- ・安全・安心の確保、高い舞台技術・提案力によるサポート
- ・新たなジャンルを開拓し、顧客開拓と高水準の稼働維持

- 舞台運営業務: 「NOと言わない舞台管理」

- ・舞台芸術の創造的なサポートと、安全性の確保の両立

■調査研究の取組

- 音楽資料室
  - ・半世紀以上にわたり収集した貴重な資料を次世代へ継承
  - ・音楽資料に精通した職員を配置し研究や学習をサポート
  - ・資料のデジタル化を図り、広く公開・活用

■館の事業を支える仕組み

- 広報

- ・若い世代への情報伝達を強化し若年層の集客を向上
- ・事業毎にターゲットやメディアを分けた情報発信
- ・財団他施設等と連携しスケールメリットを活かした広報

- 来館を促進する取組

- ・リピーターの確保: メルマガ会員の拡大、賛助会員制度(仮称)への誘導を検討
- ・上野「文化の杜」への来街層への働きかけ
- ・若者へのアピール: パートナーシップ大学との連携、若者の関心領域からのアプローチ
- ・建築の魅力のアピール(世界遺産 西洋美術館との連携)

- 外部意見等の取り入れ: PDCAの各段階において外部専門家や一般来館者の意見を取り入れ反映

- ニーズの把握: 顧客満足度調査や各種アンケート等によるニーズ把握、非利用者調査による施設に対する一般のイメージと実態のズレを確認

- 外部資金の導入

- ・協賛、補助金、助成金、撮影協力・広告による収入の獲得

4. 組織及び人材

- ・コンソーシアム解消に伴い舞台管理業務等を内製化
- ・営業機能を強化
- ・各専門知識を持った人材を適材適所に配置、個々の専門性を十分に発揮できる環境を整備
- ・各種研修により専門能力、経営上のバランス感覚、問題解決能力の向上を支援

3. 館の運営に関する業務

■休館日及び開館時間

- ・現行の開館時間を基準とし、公演状況に応じ柔軟に対応
- ・年末年始の公演に合わせた開館
- ・劣化対応のため夏期に2週間程度の工事休館

■館内サービス

- ・バリアフリー: 動線の確保、ハード面の限界をソフト面(心配りや工夫)でカバー
- ・外国人へのサービス向上: 外国語案内、決済手段の多様化(クレジットカード、電子マネー)
- ・迅速な救急対応 ・ショップ・レストラン等の運営
- ・相手に寄り添う心をこめたおもてなしの実践
- ・コミュニケーションの充実、お客様の声をフィードバック
- ・お客様からの意見・苦情への迅速な対応

5. 館の管理その他に関する業務

■館の管理

- 施設等の管理業務: これまでの経験や実績を基に、安全・安心かつ清潔を基本とした適切な維持管理

- 危機管理: 災害対応力を備え、来館者・職員の生命及び後世に継承させていくべき文化資源を守る

- ・お客様の安全確保: 危機管理マニュアルに基づく対応、テロ等の人的災害への対策
- ・大規模災害発生時: 都立施設に求められる一時滞在施設等の役割を適切に果たす (安否確認手段の周知、備蓄品の提供、帰宅支援情報の提供、女性専用スペースの設置など)

■地域等との連携の取組

- 上野「文化の杜」の連携イベント、情報発信の取組に積極的に参画
- ・教育普及活動: あいうえの ・気軽な音楽鑑賞機会の提供: まちなかコンサート
- ・地域商店街等と連携: 夏休み子供音楽会 ・国立西洋美術館と連携: 建築の魅力発信



江戸東京たてももの園 子宝湯にて まちなかコンサート

■東京文化ビジョンの実現に向けた取組

文化戦略1 「舞台芸術の殿堂」として優れたオペラ・バレエ上演を継続しつつ、創造的な自主事業を展開、国際発信力の向上

文化戦略2 上野「文化の杜」で地域活性化に貢献

文化戦略3 教育機関との連携、外国人も視野に入れた教育普及プログラムの実施。多言語化、Wi-Fi整備、音楽資料のデータベース化などの充実

文化戦略4 新進アーティスト、ワークショップリーダー、アートマネジメント人材等の発掘、育成

文化戦略5 世界の優れた文化芸術を都民に紹介、文化会館からも世界へ発信

文化戦略6 子供の豊かな感性の育成、高齢者や障害者の社会的包摂、外国人との異文化理解の促進を図る

文化戦略7 既存の分野にとどまらず映像やゲーム、ITなど幅広い分野を含む舞台芸術の可能性を追求

文化戦略8 館のミッションに則り、「文化の杜」の舞台芸術の発信拠点として他に類を見ない事業を展開

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた運営戦略と取組

・世界最高峰の舞台芸術を提供する「舞台芸術の殿堂」としてブランド力を活用しながら、2020年以降もそのレガシーとして継承する事業を展開

次代に繋ぐ舞台芸術  
・「国際連携」「舞台芸術の革新」をキーワードにした舞台芸術: 五大陸オペラ(仮称)  
・トップ&フレッシュアーティストによるコンサート

オリンピックの盛り上げ  
・無料または低料金での幅広いコンサートによる「前夜祭」

教育普及  
・異文化とのふれあい  
・障害者等の舞台芸術への参加

■国内外の施設等との連携の取組(ネットワーク化の推進)

海外	舞台芸術の共同制作、新進音楽家の国際交流、先駆的な教育プログラムの実施	地域	上野「文化の杜」のイベント等への参画、近隣大学・文化施設と連携した教育プログラム
国内	共同制作・企画協力、教育プログラムを地方へ還元	財団内	芸術劇場: 共通テーマの公演、ノウハウの共有 都美術館: 「あいうえの」 他館: コンクール入賞者を起用した「まちなかコンサート」
都内	都内教育機関、特別支援学校、高齢者施設等でのアウトリーチコンサート・ワークショップ		